

瑞浪市道の駅基本計画（案）に対するご意見と市の考え方

- ・意見提出人数 2 人（内訳 市内 2 人、その他 人）
- ・意見数 3 件

いただいたご意見・情報について、適宜要約したうえ、素案の項目ごとに整理し、それに対する市の考え方について次のとおり公表いたします。

番号	ご意見	市の考え方（修正内容）
1	<p>○地域住民が多数集える広場がなく、地域活性化、交流促進に支障をきたしている。</p> <p>釜戸町には、町内外から人を呼び込む大規模イベント（夏まつり、マルシェなど）を開催する適地（広場）がなく、このため、町の主行事である「釜戸町夏まつり」も釜戸公民館駐車場を会場としています。</p> <p>駐車場を閉鎖して行うイベントは、来場者に不便を与え、集客上多大な悪影響を及ぼしています。地域活性化、住民同士の交流促進、交流人口の拡大を図るためにも、コミュニティ広場は地域の最大のニーズであるといえます。</p> <p>【コミュニティ広場の活用】</p> <p>○大規模イベントの開催により、地域の活性化と瑞浪市・釜戸町の盛上げを図りたい。</p> <p>「楽しく、にぎやかで、ふれあいのある」ワクワクするまちづくりを進めるには、積極的に人的交流の機会を増やし、あらゆるジャンルにおいて「仕掛け」を行う必要があると考えます。</p> <p>都会には芸能を始め、取捨選択が可能なほど、あらゆる文化的コンテンツや商業施設があふれ、これがふるさとを離れ魅惑の都会に流出する要因にもなっていると思います。しかし、田舎ならではの良さ・魅力はきっとあるはず。地域を創るのは地域の人達。空気がおいしい田舎で、にぎやかなイベントを通し、友達や他人とふれあい、笑いが絶えないふるさととして盛り上げていく。老若男女問わず企画から参画できるしくみを若い世代</p>	<p>本市では、リニア中央新幹線の開業や国道19号瑞浪恵那道路の開通を地域が変わるターニングポイントと捉え、地域振興や地域活性化を図る、新たな交流・観光拠点となる「道の駅」の整備を目指します。</p> <p>本計画では、導入する機能・施設について、道路休憩施設として道の駅に必要とされる機能・施設に加え、瑞浪市域の交流拠点エリア、地域の暮らしの拠点エリアを実現するための機能・施設候補を整理しています。その中で、開駅当初より必要とする機能及び地域ニーズに応じて段階的に整備する機能のひとつとして、多様な楽しみ方を創出し、地域住民と来訪者の交流促進や多様な世代が訪れる場所となる屋外交流広場（コミュニティ広場、親水広場、芝生広場）やイベント広場等の整備を計画しています。</p> <p>なお、屋外交流広場等の具体的な整備内容については、今後の設計段階において検討していく予定です。ご意見を参考とさせていただきます。</p>

にも継承し、そのサイクルを定着させればきっと「面白い田舎」も可能だと思います。

また、道の駅に隣接するコミュニティ広場で、遠方の人にも地域のイベントを知ってもらい、自ら参加し、さらにはその担い手になってもらう、そうした交流人口の拡大が地域の活性化につながります。釜戸町にある道の駅に行けば何か面白いイベントをやっている、それを目的にわざわざ足を運んでもらえるような賑わいのある道の駅として、地域のファンを増やすためにもコミュニティ広場が担う役割は大きいと考えます。

○地域機能の低下を阻止する

定住人口の減少、高齢化等により地域住民の交流意欲が低下し、地域コミュニティが希薄さみとなっています。地域の防犯機能をはじめ町としての機能を低下させないためにも、地域住民の交流機会を積極的に地域で作る必要があります。コミュニティ広場はその礎となるものです。

【コミュニティ広場が機能するための要件】

○釜戸公民館駐車場程度以上の広さがあること

駐車場が確保され交通の利便性が高まれば、現状より集客は多く見込まれます。雑踏事故のないよう現状規模以上の広さが求められます。

○平坦地であること

雑踏事故を防ぎ、安心してイベントに参加できるよう、平坦地を望みます。

○屋外ステージがあること

釜戸町に根付く音楽、ダンス等の披露の場として、屋外ステージを望みます。

○コミュニティ広場専用の駐車場、トイレがあること

道の駅の駐車場、トイレがイベントで使用されないために、コミュニティ広場専用の駐車場、トイレがあるといいと思います。

○イベントがない日は「公園」として活用
イベントがない平日は、親子が触れ合える

	<p>(軽スポーツなど)公園として活用できるといいと思います。</p> <p>【想定されるコミュニティ広場の活用イベント例】</p> <p>釜戸町夏まつり、白狐と河童と竜の市(マルシェ)、かまどミュージックジャンボリー、自主サークル発表会、祭典、各種大会 など</p>	
2	<p>4 道の駅の導入機能、4.1 道の駅へ導入する機能・施設の整理、1) 道の駅が担う役割、地域の住民の暮らしを支える、■災害時の安全性の確保に、避難施設、防災備蓄倉庫の防災機能が位置付けられている。</p> <p>道の駅の防災機能の位置付けとしては機能が乏しい。市東部の防災拠点及び道路利用者の防災拠点として、非常時に電力が自給できる機能(水力や太陽光)、個人のプライバシーを確保できる避難所機能(キャンプ場)等を位置付けたらどうか。平常時には、道の駅の運営事業者が、売電収入を得るとともにキャンプ場の運営に携わることができる。</p>	<p>本計画では、道の駅が担う役割のひとつとして災害時の安全性の確保を掲げ、道の駅整備の基本方針の中では、災害発生時に一時的に道路利用者や地域住民を受け入れ、被災情報等を提供する機能として防災設備、災害情報を提供する施設等を整備する方針としています。</p> <p>道の駅は、災害時には広域的な防災拠点としても貢献可能な場所であることから、地域住民だけでなく道路利用者の一次避難所としての機能も重要であると考えます。</p> <p>また、非常時の電力供給機能(水力や太陽光)についても、ご意見を参考とさせていただき、「道の駅」の防災機能がさらに高まるよう検討を行います。</p>
3	<p>地域資源を活用した賑わいづくり、既存資源の活用に関したフィールドワーク・展示等の実施が位置付けられている。</p> <p>町内ではパレオパラドキシアの化石が発掘され、化石に関する内容が位置付けられているが、道の駅を拠点に交流人口の増加を図るためには、発見された場所だけではなく、道の駅の周辺に市内外の子ども達が化石を掘ることができる体験学習地があることが、特色ある道の駅となり、多くのリピーターを創ることができる。そうした計画も検討願いたい。</p>	<p>本計画では、道の駅が担う役割として、既存資源の活用、多様な楽しみ方の創出、地域住民と来訪者の交流促進等を掲げています。</p> <p>多様な楽しみ方を創出する機能のひとつとして、土岐川や佐々良木川、上平用水を活用した水景空間を創出し、水辺空間を利用したアウトドアアクティビティが可能となる自然豊かな広場の整備等を計画しています。体験学習地の整備については、河川管理者等の関係機関との協議が必要となります。ご意見を参考とさせていただき、既存の道の駅との差別化を図り、市内外から多くの方に訪れていただける道の駅整備を目指します。</p>